

国際刑事法模擬裁判 アシスタント募集



【模擬裁判とは?】実際の国際裁判をモデルにした架空の題材をもとに、学生が原告・被告の代理人として法議論を戦わせる競技で、書面作成や弁論技術など法律家に必要な素養を飛躍的に上昇させる教育方法として世界中で広く行われています。2020年度は、赤十字国際委員会 (ICRC) が主催する国際人道法模擬裁判大会 (11月末: オンライン・英語での開催) に出場し、国際刑事裁判所 (ICC) をモデルにした舞台上、国内の同年代の学生たちと書面や弁論を通じて議論を戦わせます。

【国際刑事法とは?】ジェノサイド罪・戦争犯罪など、国際社会に衝撃を与える重大な犯罪を行った個人がどのように責任を問われるかについて規律する国際法の分野です。「個人を守る盾」としての国際人権法に対して、「個人を裁く矛」としての国際刑事法では、国際社会の代表としての検察と、無実を訴える責任者の弁護人との間で熾烈な議論が交わされます。武力紛争に適用される国際人道法も合わせて扱うことになるので、個人の尊厳に密接に関わる分野を総合的に学ぶこととなります。



アシスタントの役割とメリット

- **資料整理**: 様々なデータベースから探された膨大な資料をチーム内で共有しやすい方法で整理することで、「**知識管理スキル**」を習得できます。
- **書面補助**: 裁判所に提出する書面について、法的論点を整理した読み手に分かりやすい執筆を補佐することで、「**リーガルライティングスキル**」を磨けます。
- **弁論補助**: 裁判所で口述する弁論について、裁判官と対話しながら被告に対峙する弁論を補佐することで、「**リーガルディベートスキル**」が鍛えられます。
- **英語使用**: 上記すべての行程で大量かつ良質の英語を実践的に活用していくため、「**英語4技能 (聞く・話す・読む・書く)**」が飛躍的に向上します。

いきなり模擬裁判に挑むのはハードルが高いと感じる1~2年生にもまずはアシスタントとして身近に感じてもらうことができます。経験を持つ上級生や教員が指導に携わるので安心して参加してください。

活動時期: 2020年8月下旬~大会終了 (11月下旬) (学期中は火曜4限に参加必須)

応募資格: 全学部1~2年生

募集人数: 6名 (募集多数の場合には選考を行います)

応募方法: 2020年8月10日 (月) までに下記連絡先に応募してください。

(不安や疑問がある方も上級生が個別相談しますのでお問い合わせください。)

※ 赤十字国際委員会 (ICRC) のHPから問題文や大会詳細を確認できます。

※ KARDIANOIA のHPから過去の模擬裁判大会の報告書をご覧いただけます。

連絡先: 法学部国際関係法学科3年 佐藤由和 s22am066@seinan-gakuin.jp